



おおぶ議会だより



②



③



④



①



⑤



⑥



⑧



⑦

トピックス

おおぶ・春の八景

議会広報委員が市内を彩る「春」
を見つけてきました。

- ①大東小学校入学式 ②鞍流瀬川(菜の花)
③大府みどり公園(ミモザ) ④共和東保育園(チューリップ)
⑤横根町(リキュウバイ) ⑥東新町(ミツバチ)
⑦二ツ池公園(夜桜) ⑧市役所(サクラ)

INDEX

- ◆臨時会(1月・3月)・定例会(3月)……………2～4
- ◆感謝状贈呈……………4
- ◆新年度予算に対する討論……………5・6
- ◆新年度予算委員会審査状況……………6～8
- ◆そのほかの委員会審査状況……………8～10
- ◆一般質問(9人が質問)……………10～14
- ◆委員会活動報告……………15・16
- ◆政務活動費収支報告……………17
- ◆臨時会(5月)・定例会(6月)開催予定……………18
- ◆議案審査の流れ……………18

1月 第1回臨時会 会期：令和4年1月31日（1日間）

補正予算関係 1件

- 議案第 1号 令和3年度大府市一般会計補正予算（第12号）……………原案可決（全員）

3月 第1回定例会 会期：令和4年2月25日から3月17日まで（21日間）

補正予算関係 4件

- 議案第 3号 令和3年度大府市一般会計補正予算（第13号）……………原案可決（多数）
- 議案第 4号 令和3年度大府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）……………原案可決（全員）
- 議案第 5号 令和3年度大府市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）……………原案可決（全員）
- 議案第 6号 令和3年度大府市下水道事業会計補正予算（第1号）……………原案可決（全員）

条例関係 15件

- 議案第 2号 おおぶ文化交流の杜図書館図書購入基金条例の廃止等について……………原案可決（全員）
（おおぶ文化交流の杜図書館図書購入基金を文化振興基金に一本化するもの）
- 議案第 7号 大府市犯罪被害者等支援条例の制定について……………原案可決（全員）
（市民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与するため、制定するもの）
- 議案第 8号 大府市個人情報保護条例の一部改正について……………原案可決（全員）
（法律の一部改正に伴う引用規定の整理）
- 議案第 9号 大府市職員の給与に関する条例等の一部改正について……………原案可決（多数）
- 議案第10号 大府市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について……………原案可決（全員）
（令和3年人事院勧告等を踏まえた期末手当の見直し）
- 議案第11号 大府市使用料条例の一部改正について……………原案可決（全員）
（神田、北山、石ヶ瀬及び共和西の4小学校に係る空気調和設備使用料の規定の追加）
- 議案第12号 大府市避難行動要支援者名簿に関する条例の一部改正について……………原案可決（全員）
（条例名の改正並びに個別避難計画の作成及び個別避難計画情報の提供等に係る規定の追加）
- 議案第13号 大府市子ども医療費助成に関する条例の一部改正について……………原案可決（全員）
（子ども医療費の助成対象の拡大）

- 議案第14号 大府市国民健康保険税条例の一部改正について……………原案可決（多数）
（子育て世帯を対象とした市独自の減免制度の拡充等）
- 議案第15号 大府市手数料条例の一部改正について……………原案可決（全員）
（法律の一部改正に伴う引用条項の整理）
- 議案第16号 大府市道路占用料条例及び大府市公共用物管理条例の一部改正について……………原案可決（全員）
（占用料及び使用料の改定並びに自動運行補助施設に係る占用料及び使用料の規定の追加）
- 議案第17号 大府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について……………原案可決（全員）
（犯罪被害者等支援条例に伴い、選考による優先入居の対象に特別の事情がある者を追加）
- 議案第18号 大府市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部
改正について……………原案可決（全員）
（許可できない区域について、災害危険区域等で市長が定める区域を追加）
- 議案第19号 大府市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
について……………原案可決（全員）
（大府一ツ屋地区整備計画の区域内における建築物に関する制限の追加）
- 議案第20号 適用対象が消滅した条例等の廃止について……………原案可決（全員）
（適用対象の消滅等の理由で実効性や必要性を喪失した10件の条例の廃止）

一般議案

2件

- 議案第21号 市道の路線変更について……………原案可決（全員）
・市道1001号線（共和町）ほか19路線
- 議員派遣について……………原案可決（全員）

新年度予算関係

5件

- 議案第22号 令和4年度大府市一般会計予算……………原案可決（多数）
- 議案第23号 令和4年度大府市国民健康保険事業特別会計予算……………原案可決（多数）
- 議案第24号 令和4年度大府市後期高齢者医療事業特別会計予算……………原案可決（多数）
- 議案第25号 令和4年度大府市水道事業会計予算……………原案可決（全員）
- 議案第26号 令和4年度大府市下水道事業会計予算……………原案可決（多数）

決 議

1件

- 決議第1号 ロシアによるウクライナへの侵略行為を断固非難する決議……………原案可決（全員）

3月**第2回臨時会**

会期：令和4年3月31日（1日間）

条例関係**3件**

- 議案第27号 大府市税条例の一部改正について……………原案可決（全員）
- 議案第28号 大府市都市計画税条例の一部改正について……………原案可決（全員）
- （地方税法の一部改正に伴い、改正するもの）
- 議案第29号 大府市国民健康保険税条例の一部改正について……………原案可決（多数）
- （国民健康保険税の課税限度額の改定）

補正予算関係**1件**

- 議案第30号 令和4年度大府市一般会計補正予算（第1号）……………原案可決（全員）

賛成・反対が分かれた議案（全会一致の議案は省略しています）

○：賛成 ×：反対 欠：欠席

会 派		自民クラブ							市民クラブ					公明党		無所属クラブ		共	会	風
議案番号	結果	藤本宗久	太田和利	酒井真二	鷹羽琴美	加古守	山本正和	早川高光	小山昌子	大西勝彦	三宅佳典	野北孝治	木下久子	柴崎智子	国本礼子	鷹羽登久子	宮下真悟	久永和枝	森山守	鷹羽富美子
定例会	議案 3	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
	議案 9	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
	議案14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
	議案22	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
	議案23	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
	議案24	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
臨時会	議案26	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
	議案29	可決	○	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×

※議長は地方自治法の規定により、議決に加わるできません。※一番上の行は、議員の所属会派を表します。「共」は日本共産党、「会」は無会派クラブ、「風」は風民の会です。



前議長
山本正和
議員



前副議長
柴崎智子
議員

愛知県市議会議員会から
感謝状が贈呈されました



新年度予算に対する討論

3月議会最終日(3月17日)の採決に先立ち、新年度予算案に対して、各会派から討論(賛成・反対の意見の表明)がありました。主な内容は次のとおりです。

市民クラブ

岡村市長が施政方針演説において、最も多くのページを割いて説明しているのは、政策目標1の「ここからからだも元気に過ごせるまち」と政策目標7の「子どもが輝くまち」の2つの目標である。

この目標は、「サステイナブル健康都市」の中心テーマであり、SDGsの「誰一人置き去りにしない」という理念を具現化するものであり、新型コロナウイルス感染症危機から市民を守り抜くという公務員の自信と誇りでもある。

今後、子どもを核としたまちづくりに積極的に投資し、まち全体で子どもたちを育てていくことが、持続可能なまちづくりにつながっていく。子ども・子育て施策は、将来にわたり、地域の安心・安全、文化、福祉、教育、まちづくり、地域産業、雇用等の多くの分野において、暮らしを起点にした好循環を生み出す。まちを創るのはひと。これからの大府を創るのは、大府の子どもたち子どもたちをまち全体で応援する、そんな当初予算が編成されたことを評価し、賛成する。

市民クラブ

令和2年度から新型コロナウイルス感染症拡大が始まり、先の見えない長いトンネルの中、いまだに出口が見えない。一日も早い収束を願うばかりである。

令和4年度は、見通しの難しい財政状況の中、感染拡大防止を図りつつ、必要な施策を実行する予算となっており、将来を見据えた健全財政を維持している。

「持続可能な健康都市おおぶ」を継続していくためには、市民が各種事業の目的を実感できることで、より市民の幸せが増え、市民サービスが向上する。臨時特別出産祝金や子育て世帯臨時特別給付金の対象者を大府市独自で4月1日生まれまでとしたことは、市民に一番近い自治体だからこそできることと高く評価する。

以上のような考えのもと、私たち市民クラブは、令和4年度大府市一般会計予算を総合的に判断して、賛成とする。市民クラブは、これからも議会活動において、行政に対する健全なカウンターパートとしての役割を果たしていく。

賛成

公明党

ポストコロナに向け、経済回復が期待されるが、市民の日常生活には多くの不安要素が依然として根強い。令和4年度の予算は、子育て施策・教育環境の更なる充実や、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組、デジタルトランスフォーメーションの推進など、新たな行政課題への対応に迫られ、厳しい財政運営は続くと考ええる。

今日まで、コロナ禍の対応並びに持続可能な市政経営を実現するために、各予算編成に向け、取り組まれてきた最前線の職員に改めて敬意を表する。

成年後見制度利用促進事業は、権利擁護を必要とする人が、適切に制度を利用できるように、支援策の拡充を期待する。超高齢社会を見据え、息の長い制度の構築に向け、事業内容に応じた予算付けが必要となる。

今後、デジタル化を推進する上で、誰もが最大限に恩恵を受けられる環境の整備が重要である。業務の効率化、働き方改革、市民サービスの向上のため、情報格差を生まない取組に期待を申し上げ、賛成討論とする。

無所属クラブ

本市の年度末人口増加率は、平成28年度末の1・4%から年々下がり、令和2年度末には0・2%、令和4年2月末の人口は前年同月比マイナス303人となっている。単年度の予算編成に当たって一喜一憂すべきでないことは理解するが、本市の未来に向けた転換点が迫っている可能性があり、今後も推移を注視していく必要がある。それはまた、中心市街地活性化を通じてまちの魅力をどう高めていくかという議論や、進行中の区画整理事業等の住宅政策においても重要な指標となってくる。

ロシアによるウクライナへの武力侵攻により、本市でも今後、市民の暮らしや、市の投資的事業における資材調達、コスト、その他の面で、どれだけの影響があるかはいまだ不透明である。

コロナ禍の見通しだけでなく、現下の社会情勢から、様々な懸念が想定される令和4年度にあっても、適時適所かつ適宜の対応を柔軟に行い、我がまちの持続可能で発展的な姿の更なる追求に向けて、引き続き力を尽くされんことを期待し、賛成する。

新年度予算に対する討論

各会派からありました討論の主な内容は次のとおりです。

賛 成

無会派クラブ

全国紙の地方版にも取り上げられた「バイオリンの里・大府」を目指す事業については、注目と関心を集めている。小中学校、保育園、市役所ロビー等、身近なところで無理なく自然に文化芸術に触れられるまわづくりに期待が寄せられる。

市独自のコロナ対策であるオリジナルのアイソレーションガウンは、軽症者や感染者家族の自宅療養が主となる中、訪問看護や介護現場で歓迎され、制作した1万着は既になく、現在は寄附されたものが使用されている。今後に備えて、知多北部広域連合、事業者、被保険者との役割分担を含めた行政運営に期待する。

また、コロナ禍において、学校、保育園、家庭、地域がそれぞれ孤立することのないよう、開かれた関係づくりが求められる。

その点で、市長と、あらゆる年代、属性にかかわらず語り合っていると実感できる、顔の見える関係づくりへの工夫と多くの取組が、超高齢社会やコロナ禍という状況であるからこそ、市民から大いに歓迎されると考え、賛成とする。

反 対

日本共産党

大府市は、情報漏えいの懸念のあるマイナンバー制度の推進に積極的であり、デジタル化・効率化優先の予算が目立つ。ガソリン、食料品等、様々な値上げが続いているが、生活困窮者への対策、増加する不登校対策、コロナで影響を受けた事業者への市独自の大きな支援策が見当たらない。大府市は国の補助金等を活用し、貯金を切り崩さず、財政的にも余力を残した予算としながら、市民への負担増を強行した予算であり、反対する。

コロナ禍で下水道料金の20%引上げを決め、令和4年10月には第1段階として10%の引上げを行う。さらに、社会保障であるはずの国保税も、加入者に負担を押し付けた結果、大幅な引上げとなる。市の保育士や保健師等のケア労働者に対して、国の行う処遇改善、月額約9千円の昇給を行わないどころか、職員の年収引下げの予算である。子どもの命を預かる保育士等の処遇は、直接、市民、子どもに跳ね返ってくる。コロナ禍の今、職員を大事にし、市民に寄り添う姿勢が優先されるべきと考える。

風民の会

コロナ禍でありながら、市民税・固定資産税・都市計画税の増収が見込まれ、財政調整基金を取り崩すことなく、過去最高の予算規模が示されているが、次の4点について、市民に寄り添った事業実施がされていないと判断するため、反対する。

1 点目、行政手続のオンライン化は、個人情報流出の危険性が懸念されることから、慎重に対応すべきである。マイナポータルからの個人情報提供に法的根拠がないまま、情報連携を進めることは容認できない。

2 点目、社会が複雑多様化する中、市民ニーズは増すが、正規職員の増員は、ほとんど見込まれていない。期末手当の引下げによる人件費削減ではなく、処遇改善が必要と考える。

3 点目、子ども一人一人に行き届いた教育を進めるため、教員の働き方改革には、より大胆に取り組むべきである。市独自の講師の雇用など、人的な予算措置が必要と考える。

4 点目、共和西放課後クラブの公設民営化継続は容認できない。本事業は児童福祉として、本来、市が責任を持って行うべきものと考えている。

総務委員会

令和4年度大府市一般会計予算

問 通年で職員の募集を行うことが、どのような点で多様な人材の確保に資すると考えているか。

答 複数の採用試験の日程を組み合わせることに、各日程の周知期間を早めることで、常に応募ができる環境となり、応募者数が増加し、多様な人材の確保につながると考えている。

問 災害時対応のために検討している避難所への公衆無線LANの導入は、どのような進捗状況か。

答 補助金等による財源確保や停電時の電源確保の状況を考慮しながら、導入時期を研究している。

問 移動期日前投票所は、どのような地域で開設するのか。

答 大府市役所期日前投票所や各当日投票所から距離があり、交通弱者が多い高齢化率の高い地域に開設を

予定している。具体的には米田投票区の桜木町地内や北崎投票区の北尾新田地区を予定している。

問 「市民と市長のまちトーク」の参加者を決定するための「くじ引き民主主義による抽出法」とは、どのような方法か。

答 無作為に抽出した市民300人程度に参加案内を送付し、参加を希望した市民を地域、年代、性別で分類し、くじ引きで参加者を決定する方法である。

問 「バイオリンの里」の実現に向けたイベント等は、どのような経緯で事業化されたのか。

答 本市に、鈴木バイオリン製造(株)が戻って来たことや、国際的なバイオリン奏者の出身地でもあることから、バイオリンに縁の深いまちとして、幅広い年代の方に気軽にバイオリンを親しんでもらえるよう、様々な事業を展開していくこととした。



厚生文教委員会

令和4年度大府市一般会計予算

問 将来のまちづくりを担う人材を育成するための「若者会議」とは、どのような事業内容か。

答 16歳から29歳までの若者20名程度を集め、市への政策提言について話し合う場を8回程度設ける。最終回には提言内容について、プレゼンテーションを行う予定である。

問 医療的ケア児学校等訪問看護事業の実施により、保護者の負担がどのように減らせるのか。

答 市内の学校等に通う児童・生徒の医療的ケアを保護者に代わって看護師が行うことで、付き添う保護者の負担を軽減するとともに、就労を希望する保護者の就労支援にもつながると考えている。

問 産学官の連携による子どもの近視予防に関するプロジェクトの内容はどのようなものか。

答 小学1年生から3年生までの親子から参加希望者を募集し、専門的

な検査や生活改善に向けた取組に対するチェックシート等により、視力低下を防止するための啓発や介入を行うものである。

問 中学生平和大使は、4中学校全校から派遣できるか。また、派遣後、中学校で報告会を実施するのか。

答 4中学校からの参加が望ましいと考えているため、多くの生徒に応募してもらえよう、教育委員会を通じて呼び掛けていく。また、中学校での報告会は、各学校の判断であるが、現地で感じたこと等を同世代に伝えてもらう機会であるため、開催をお願いしていきたい。



▲「中学生平和大使」広島派遣

問 北山小学校4年生を対象として、バイオリンによる音楽教育を試行するとしているが、その後の展開をどのように考えているか。

答 小学校におけるバイオリンの授業は事例がほとんどないため、まず、令和4年度の試行の結果をまとめ、令和5年度以降に、市内全ての小学校で実施できるよう検討していく。

建設産業委員会

令和4年度大府市一般会計予算

問 空家等の対策として、老朽空家除却費補助金などの新規の取組が挙げられているが、その目的は何か。

答 管理が不十分な空家を特定空家等に認定し、法律に基づく厳しい措置を講じることで、住環境の安全の確保に努めるとともに、補助金を交付することで、危険な空家の除却による安全確保と、除却後の土地の流通促進を図っていくという両輪で進めるものである。

問 スタートアップ支援であるステーションAパートナー拠点の誘致について、愛知県とどのように連携して進めていくか。

答 令和3年11月に開催されたウェルネスバレー推進協議会にて、スタートアップとの連携を進める方

針が決定されたことを踏まえ、本市の特色である健康長寿を強みとして打ち出す方針で、県と連携し、検討を進めていく。

問 循環バスを近隣の総合病院に乗り入れることや、他の公共交通機関に乗り継ぐことを検討したか。

答 総合病院への乗り継ぎが継続できるよう、近隣市の地域公共交通活性化協議会に参加し、その公共交通状況を考慮して働き掛けていく。



▲市民に親しまれている「ふれあいバス」

算 令和4年度大府市下水道事業会計予算

問 下水道事業に地方公営企業法を全部適用することで、将来世代への費用負担は変わるのか。

答 将来世代への費用を抑える取組としては、既に下水道施設の老朽化・耐震化対策を進めている。また、全部適用することで、機動性を発揮するとともに、水道事業と下水道事業が一体となった組織により、更に効率的な運営を行って、コスト縮減に努めていく。

問 食材やガソリンなどの高騰が続き、新型コロナウイルス感染症の収束のめどがつかないまま、令和4年10月に下水道使用料の1段階目の引上げとなるが、総合的な家計の負担を考え、引上げの時期をずらすなどの検討は行ったか。

答 将来にわたり安定したサービスを提供するために必要な改定である。市民生活への影響を考慮した上で、2段階での改定を決定したため、時期をずらすことは考えていない。

そのほかの委員会審査状況

《第1回定例会》

総務委員会

おおぶ文化交流の杜図書館図書購入基金条例の廃止等について

問 おおぶ文化交流の杜図書館の図書の充実を図るための費用を大府市文化振興基金から取り崩した場合、公表するののか。

答 運用の利子を図書の購入に当ててきた図書購入基金から、基金そのものを取り崩して使用する大府市文化振興基金に一本化することであり、基金の残高は適切に管理していく。

令和3年度大府市一般会計補正予算(第13号)

問 庁舎の施設維持管理委託が設計金額よりも低い金額で落札されたが、委託業務に影響はないか。

答 入札差金については、設計金額に占める割合が大きくないので、支障はないと考えている。

問 財政調整基金繰入金の減額分を更にほかの基金に積み立てるなどの選択肢を取らなかった理由は何か。

答 複数の基金への積立でも行っているが、幅広い目的に使用できる財政調整基金に、ある程度積み立てておく必要がある。その結果、本補正予算後の残高見込額は、本市の標準財政規模の約20%を確保している。

大府市犯罪被害者等支援条例の制定について

問 条例に定める「犯罪等」及び「犯罪被害者等」に該当するかどうかの判断は、誰がするのか。

答 捜査の過程を経て、警察が判断する。

問 犯罪被害者等の経済的負担の軽減を図るために、どのような支援を行うのか。

答 金銭的な支援として遺族支援金、重傷病支援金、精神療養支援金の給付を考えている。また、育児や保育、介護等の人的支援や、自宅に居住することが困難な場合などに必要な支援を行うことを考えている。

厚生文教委員会

大府市使用料条例の一部改正について

問 空気調和設備の使用料が、小学校と中学校の体育館で異なる理由は何か。

答 中学校の使用料は、体育館の2分の1面を利用した場合の設定としており、空調設備の設置数が異なる。よって、中学校は8基、小学校は12基に掛かる実費から使用料を算出している。



▲学校体育館の空気調和設備

大府市避難行動要支援者名簿に関する条例の一部改正について

問 避難行動要支援者名簿や個別避難計画の作成を通して、支援者に対して、どのように意識付けを行うのか。

答 計画等に基づいて、実効性のある避難支援等を行うとともに、計画づくりを機会として、顔の見える関係づくりも推進していきたいと考えている。

問 個別避難計画の見直しの方法として、避難訓練を実施する考えはあるか。

答 計画の更新は、年1回を考えている。計画については、自治区も把握しているため、関係者に声掛けがされ、地域の避難訓練等で活用されることを期待している。

大府市子ども医療費助成に関する条例の一部改正について

問 子ども医療費の助成対象が18歳までに拡大されることにより、必要性に乏しい受診の増加が危惧されるが、対象の拡大に要する子ども医療費は、年間どのくらい増加するのか。

答 年間5、500万円から6、000万円程度の増加を見込んでいる。本市の場合、通院医療費に1割の自己負担を設けているため、真に医療を必要とする方の受診につながると考えている。

問 助成が拡大される高校生の年代が、市外で医療を受けた場合の子ども医療費の受給については、どのような手続が必要か。

答 市外の医療機関にかかった場合は、一旦、3割の自己負担額を支払い、後日、市の窓口で償還払いの手続を行うことになる。

建設産業委員会

令和3年度大府市一般会計補正予算(第13号)

問 資材の調達困難や工期の遅れ等により、令和4年度に繰り越される事業が幾つかあるが、見通しはどうか。

答 横根町の砂川沿いにある市道の改良工事は、令和4年6月までに完了したいと考えている。市道養父森岡線の一部区間については、令和4年9月までに完了したいと考えている。

令和3年度大府市下水道事業会計補正予算(第1号)

問 市から申請する国庫補助金のうち、当初予算の歳入として計上したのは、どれくらいの割合か。

答 通常、交付率が100%になることは難しい状況であるため、今回は、これまでの実績を踏まえ、申請額の約7割の予算を計上した。

大府市道路占用料条例及び大府市公共用物管理条例の一部改正について

問 自動運行補助施設を占用物件に位置付ける道路法施行令の改正は令和2年に行われているが、条例改正がこの時期になったのはなぜか。

答 愛知県では、令和3年11月の県議会で自動運行補助施設を追加する条例改正がされたため、本市においても、改正することとした。

大府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について

問 大府市犯罪被害者等支援条例の制定に伴い、優先入居の要件に特別の事情がある者を追加することだが、被害者等が入居する場合の所得制限はなくなるのか。

答 本条例に定める入居者の収入基準等を満たす必要があるが、犯罪被害者等が優先的に入居できるような改正内容としている。また、緊急避難が必要な場合は、目的外使用としての入居を可能とする予定である。

問 優先入居の要件については、市長が定める範囲が示されていたが、今回の改正では、規則で定めることになっている。今後、この要件については、議会に諮られることがなくなるということか。

〔答〕 規則で定めることになるので、議会への上程はされないが、公表していく予定である。

大府市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部改正について

〔問〕 災害リスクの高い区域であるが、災害防止対策が図られている土地での開発に対して、許可する基準はあるのか。

〔答〕 建物の構造等の基準が、ある程度示されているので、その基準に照らし合わせながら許可していく。

《第2回臨時会》

厚生文教委員会

大府市国民健康保険税条例の一部改正について

〔問〕 国民健康保険税の課税限度額の改定により、影響を受ける世帯数と影響額はどのくらいか。

〔答〕 令和3年度の被保険者での試算で224世帯が影響を受け、うち2

12世帯が限度超過世帯となる。影響額としては、全体で約662万円の増となる見込みである。

令和4年度大府市一般会計補正予算(第1号)

〔問〕 ウクライナ避難民人道支援一時金の支給の範囲は、どこまでを想定しているのか。

〔答〕 ウクライナへの侵攻が始まった令和4年2月24日以降引き続き本市に住居登録のある民法上の親族等を頼って、同日以降に戦禍を逃れてウクライナから避難してきた、ウクライナ国籍を有する者、又はこれに準ずる者としている。

〔問〕 ウクライナ避難民に対し、一時金以外に、どのような人道支援を検討しているのか。

〔答〕 教育、住まい、言葉の壁など、様々な問題があるので、「大府市ウクライナ支援連絡会議」において、組織横断的な対応を考えていきたい。



(9人) ※正副議長は一般質問を行わない慣例になっています。

※それぞれのQRコードから、記事に関連する部分の録画映像をご覧いただくことができます。

※QRコードのご利用には、スマートフォン等のQRコード読み取りアプリ等が必要です。※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

一般質問



「新しい学び」を
充実させるために

鷹羽 富美子 議員



〔質〕 児童生徒及び教職員にとつてのICT教育の課題は

〔答〕 コロナ禍における学びの保障に関することが挙げられ、家庭でもICT機器を活用できる環境の維持に努めている。

〔質〕 ICT活用において、児童生徒の健康に配慮していることは何か

〔答〕 常時タブレットの画面を見続けるような授業を避け、使用時の正しい姿勢を指導する。

〔質〕 電磁波被ばくを避けるため、Wi-Fi通信を使用しないときは、アクセスポイントの電源を切ることを考えていないか

〔答〕 電磁波の影響については、引き続き研究成果等を注視していくが、新しい学びを充実させるため、使用しないときに電源を切るといった運用は現時点で行う考えはない。

〔質〕 教員の働き方改革について、時間外勤務が月45時間を超える教員の割合は何%か

〔答〕 4月から1月までの合計で、小学校は36%、中学校は39%となっている。

〔質〕 時間外勤務上限の月45時間、年360時間を遵守するための具体的な措置を検討しているか

〔答〕 教職員の時間外勤務を減らし、より安定した気持ちで子どもと向き合えるように、中学校の朝の部活動及び小学校の課外活動の終了、成績処理を行う学期末・学年末の授業の短縮や勤務時間終了後の電話音声対応時間の拡大などを行う。

〔質〕 「1年単位の変形労働時間制」の導入の考えはあるか

〔答〕 現時点では検討する段階にないと考える。

健康都市について



小山 昌子 議員



質 問 「健康都市おおぶ」として目指す姿は何か

答 弁 本市は、市制施行時から掲げる「元祖健康都市」であり、健康づくりの理念は、地域にも脈々と受け継がれていると感じている。今後も、市民の健康に加え、まち全体が健全で活力あふれる「日本一元気な健康都市」を実現する施策を推進していく。

質 問 大府市の「自慢できるものや誇れるもの」は何か

答 弁 本市の自慢や誇りは人それぞれであり、シティプロモーションを通じて、「まちを愛する心」、すなわち「シビックプライド」を醸成することが重要であると考えている。

質 問 コロナ禍における児童生徒に与える影響をどのように考え、対応しているのか

答 弁 感染状況等を踏まえて可能な限り活動を行い、児童生徒の学校生活がより充実したものとなるよう、教職員が一丸となって対応している。コロナ禍で中止を余儀なくされる状況の中で、オンラインでの実施を試みるなどして、どの小中学校においても、自分自身を見つめ、望ましい生活の在り方に気づく機会を確保するよう努めている。

質 問 オリンピックのレガシーをどのように考えるか

答 弁 スポーツ参画人口の拡大にピックアップのレガシー継承につながっていくものと考えている。市民がスポーツを楽しめるよう、ソフトとハードの両面を充実させ、金メダルのまちをPRすることで、オリンピックで高まったスポーツに対する熱を更に高められるよう、市民が一体となって本市のスポーツを盛り上げていく気運の醸成に努めていく。

誰一人取り残さない社会とつながる環境づくり



柴崎 智子 議員



質 問 オンラインによる「保活支援サービス」や「保育施設入所（園）手続」の今後の展望は

答 弁 入所手続については、子育て中の保護者の負担を軽減するため、令和4年度から国が提供する「ぴったりサービス」を活用したオンラインでの受付を開始する予定である。さらに、本市独自で、入所申込みから保育所内定通知書の発送まで、保護者が市役所に来庁しなくてもよいサービスを提供する。

質 問 子育て中の女性が社会とつながり、仕事を継続できるようにするために、行政はどのようなサポートができるか

答 弁 夫婦が協力して子育てするのを促進することや、出産後も仕事を継続でき、両立支援のための働きやすい職場環境の整備を事業所に働き掛けることが行政として重要である。

質 問 妊婦や授乳中の母親に対して、防災用の授乳服を災害時の備蓄品に加えるアドバイスをしないか

答 弁 妊産婦の訪れる機会の多い子どもステーションや保健センターで、災害時の子育て情報として、授乳服等の備蓄を呼び掛け、市公式ウェブサイトや母子手帳アプリ「母子モ」などを活用した啓発をしていく。

質 問 使い勝手の良いAIチャットボットへと、今後の進化をどのように考えるか

答 弁 質問・回答を担当部署が作成し、既にあるウェブサイトにへつなげる作業を繰り返して、正しく答えられる確率を高める取組をしている。AIを活用した総合案内サービスのAIチャットボットの成長は、業務の効率化につながり、市民の利便性の向上のため、より使い勝手の良いものへ進化させていく。



誰もが安全で安心して
暮らしをゆける大府を目指して

鷹羽 登久子 議員

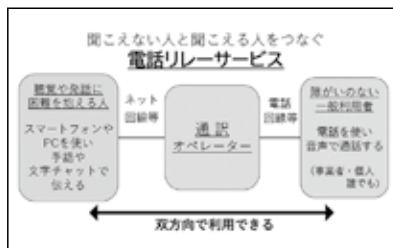


質問 住宅用火災警報器について、音が聞こえない、聞こえにくい人への支援策と、その周知の考えはどうか

回答 火災の発生を知る方法として、火災警報器からの警報音は大変重要である。音を強力な光や振動、文字に置き換えて知らせる機器が販売されており、障がいをお持ちの方には、福祉部に給付制度がある。スマートフォンを利用されている方には、音を文字や振動に置き換えて知らせてくれる無料のアプリも提供されている。引き続き関係課と協力しながら、独居老人防火診断や出前講座等で、対象者に対して周知していく。

質問 聴覚や発話に困難を抱える人のための「電話リレーサービス」について、積極的に広く周知を進める考えは

回答 大府市手話言語条例の制定過程で、ろう者の方から、



▲電話リレーサービスのイメージ図

暮らしにおける困りごとなど、現状や想いを伺ったところ、コミュニケーション促進の手段として、スマートフォンを活用している人も増えているとのことだった。電話リレーサービスは、スマートフォン等、新しい技術を活用したものであり、今後もAIによる新たなサービスが提供され、コミュニケーション手段の利用促進が予想される。利活用には、ろう者の方からの意見や使った感想等を確認していくことが重要であり、手話カフェサロンや手話サークルなどで、電話リレーサービスの周知、活用方法を検討していく。



学校図書館を、子どもたちの
ポテンシャルを伸ばす施設に

藤本 宗久 議員



質問 学校図書館の意義に対する基本的な考え方は

回答 学校図書館法では、学校図書館を学校教育の基礎的な設備として位置付け、その目的を、児童生徒及び教員の利用に供することにより、学校教育課程の展開に寄与するとともに、児童生徒の健全な教養を育成することと示している。本市の小中学校においても、この目的に沿って学校図書館の運営をしている。また、児童生徒が行きたくなるような学校図書館となるよう、児童生徒たちによる図書委員会の活動も生かしながら、環境整備に努めている。

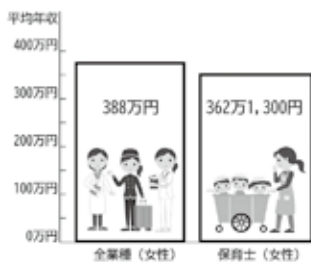
質問 学校司書の配置を検討する考えはあるか

回答 児童生徒が学校図書館を活用して、情報活用能力を身に付け、主体的で意欲的に学習や読書に取り組むために、学校司書の配置は効果的な一つの方

法と考えている。しかし、学校には学校図書館に限らず、支援が必要な児童生徒への人的配置、ICT教育に関わる人的配置を必要とする場面が幾つもある。現在は、司書教諭の資格を取得している教諭が各校に1人配置されており、その教諭を中心とした各学校の図書部会等の組織において、読書意欲を高める方策や読書指導について考え、対応することとしている。

質問 新聞を複数紙配備する考えはあるか

回答 新聞には、見出しを読むだけでなく、自分に関心があること以外の情報を知ることができるといったメリットがあり、新聞の活用は児童生徒の成長にとって効果的な方法だと考える。学校図書館への新聞の配備は努力義務とされているので、新聞を活用することの効果、方法等について、各学校の声に耳を傾けていく。



▲女性保育士の平均年収は全業種平均よりも低い

質 問 国が行うケア労働者へ月額約9,000円の昇給を行う事業を大府市としてどう理解しているか

答 弁 国の保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業実施要綱及び保育士等処遇改善臨時特例交付金交付要綱で示されているとおり、保育士・幼稚園教諭等及び放課後児童支援員等の処遇の改善のため、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提に、本年2月から収入を3%程度引き上げることが目的とした事業であり、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」として実施されるものであると認識している。



保育士が豊かな保育を行うために

久永 和枝 議員



質 問 公立は公定価格に補填されず、民間は補填されて運営される矛盾をどう考えるか

答 弁 本市は財政力指数が1を上回る普通交付税の不交付団体であり、地方交付税による財源措置がない。したがって、民間保育所等に公定価格として支払う運営費の本市の負担分は全体の4分の1であるが、公立は全額を市が負担し運営しなければならないという仕組みである。

質 問 保育士が保育に専念できるように、各保育園へ事務員を配置する考えはないか

答 弁 公立保育所については、毎月の公定価格の計算や給食費等の徴収、給食材料・保育材料の調達、賃金の支払、施設維持管理等の事務を幼児教育保育課や市役所内の会計、人事、契約等の担当課が集中処理しており、保育士は保育に専念できる体制となっている。



持続可能な行政経営を行っていくために

大西 勝彦 議員

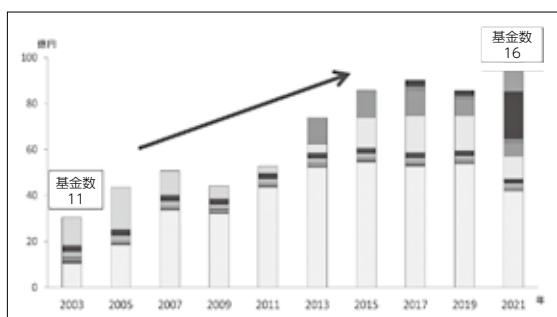


質 問 中長期財政推計を見直し改定する考えはあるか

答 弁 地方公共団体を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、10年という長期間で財政状況を見直すことは非常に困難であると考えている。したがって、現時点で財政推計の改定を行う考えはないが、実施計画の財政的な裏付けとなる3年間の財政計画の策定を通じて、今後も計画的かつ持続可能な行政経営を推進していく。

質 問 現在の基金数は妥当と考えているか

答 弁 本市では、将来的な財政需要への備えや寄附金の受け皿、重要施策の実現のための財源確保として、戦略的かつ計画的に特定目的基金を活用しており、現在設置している基金については、全て必要なものであると考えている。



▲基金（一般会計）の推移

答 弁 現在のシステムは財務会計システムの入替えと同時に、平成28年度から稼働しており、今のところ、用品調達基金の廃止を行う考えはない。現在の用品調達基金に代わる他の仕組みについては、他自治体の取組を研究した上で、次回の財務会計システムの入替えの際に導入を検討したいと考えている。

質 問 用品調達基金を廃止する考えはないか



市民サービスの向上について

野北 孝治 議員



質 問 オンライン申請を中長期でどこまで進めるのか

答 弁 本市では、「電子申請・届出システム」を活用し、「所得課税証明書の交付請求」や「水道使用開始の届出」など40種類の手続をオンラインで行うことが可能となっている。令和4年度からは、国が提供する「ぴったりサービス」を活用し、子育て・介護・被災者支援に関する27種類の手続をオンライン化する予定である。さらに、本市独自のメニューとして、「放課後クラブの入所申込」、「転出・転入の手続」、「市県民税の申告」の3種類についても、オンライン化できるよう準備を進めている。

目を記入する従来の方法に加え、デジタルを活用した「書かなくてもよい」市役所の実現に関する最新技術動向を踏まえ、導入に向けた検討を行っている。また、「行かなくてもよい」市役所の実現のためには、デジタル機器の使用に苦手意識を持つ人を一人でも減らしていく必要があると考え、スマホ講座を公民館で開催するなど、デジタルデバイドの解消にも努めている。

質 問 2S（整理・整頓活動）は定着しているか

答 弁 行政管理課職員による巡視及び指導、各職員の2Sに関するチェックシートの記入の継続、文書の電子化による紙文書の削減、文書保存の省スペース化の取組を行っている。これらの取組により、2Sは定着してきていると感じているが、今後とも継続して周知啓発に努めるとともに、2Sに有効な新たな取組についても調査研究を行う。

質 問 オンライン申請に不慣れな方への窓口業務はどうあるべきと考えるか

答 弁 市役所に来庁される方に対しては、申請書に必要な項目

※デジタルデバイドとは、インターネットやコンピュータを使える人と使えない人との間に生じる格差のこと。



より人にやさしい公共施設と若者の消費者被害拡大防止

宮下 真悟 議員



質 問 見えない、見えづらい人のための音声ガイド、点字表記及び点字ブロックの拡充、触知案内図の導入についての考えは

答 弁 新たに建設する公共建築物については、「大府市人にやさしい街づくり基本計画」の整備指針に基づき、バリアフリー、ユニバーサルデザインという観点も持ち合わせ、整備を行っている。現時点で触知案内図の導入は予定していない。

質 問 補助犬が多機能トイレを利用できることを周知し、理解促進を図る「ほじょ犬マーク」を掲示することについての考えは

答 弁 本市としては、まだ十分に理解が深まっていないと感じている。誰もが安心して暮らせる共生社会の実現のために、市庁舎を始めとする公共施設への「ほじょ犬マーク」の掲示に

ついて、大府市自立支援協議会等から意見をいただき、議論を進めていきたい。



▲厚生労働省が作成した「ほじょ犬マーク」

質 問 成人年齢18歳への引下げに伴う若者の消費者被害の拡大を防止するために、本市の消費者行政が取り組むべき今後の具体的方策はどうか

答 弁 県の講師派遣事業を活用した消費者トラブル対策講座を、市内全中学校の3年生を対象に毎年度実施している。また、「若者向けおお暮らしナビ」を、引き続き市内各所に幅広く配布するほか、SNSを活用する等、消費者トラブルの未然防止や被害遭遇時の救済方法について、啓発を行っていく。

委員会活動報告

総務委員会

「大府市におけるゼロカーボンシティの推進について」の調査研究に当たり、バイオガス発電のための生ごみ分別収集モデル事業に取り組んでいる横根自治区と、生ごみから生成したバイオガスを利用した発電施設を運営するオオブユニティと、それぞれ情報交換を行った。

横根自治区との情報交換会

(1月11日)

生ごみ分別収集のきっかけは、生ごみを活用したバイオガス発電施設が自治区内にあることから、家庭ごみの削減を目的としたモデル事業の実践地区として、大府市が横根自治区に依頼したことによる。

モデル事業は1回目（令和元年10月～12月）として羽根山地区の76世帯から開始した。3回目（令和3年10月～令和4年3月）には横根自治区全体に拡大し、約1、400世帯が対象となった。

大府市への反映・所感

今後は、住民の取組へのモチベーションの保持がポイントであり、住



▲横根自治区との情報交換会

民にとって、わかりづらい、面倒くさい、負担が増すといった不安の解消が課題である。この事業を進めていくに当たり、自治区からは、「このような住民の声に対して、メリット・デメリットを整理し、全体としてどう進め、どうやりきることか」といった市の姿勢を確認したい」という意見が出された。

また、委員からは、「行政や市民など、みんなで取り組むということが意識を高めることにつながる」「更に効果的な取組となるように、個々の活動をどのように連携させるかを考えていく必要がある」などの意見が出された。

オオブユニティ株式会社との情報交換会

(1月24日)

同社の横根バイオガス発電施設では、食品工場から出される動植物性残渣、飲料メーカーから出される廃

棄飲料、スーパーや飲食店、一般家庭から出される生ごみからバイオガス（メタンガス）を製造し、625kwの発電機で発電している。なお、この施設は、家庭からの生ごみ回収の取組を市全体（約4万世帯）に広げた場合でも受入れ可能なキャパシティを持っている。

大府市への反映・所感

現状では、利用しきれないバイオガスの有効利用、発酵残渣から製造される工業汚泥肥料の利用促進、そして、家庭用生ごみの量に比べて事業系廃棄物が大半を占めることから、そのバランスの調整といった課題がある。

「廃棄物が資源となる」という、この取組の目的と仕組みに共感する一方で、循環型社会の実現にはまだ高いハードルや、現実社会での矛盾があるということを認識した。



▲横根バイオガス発電施設

厚生文教委員会

「高齢者の生きがいづくりについて」の調査研究の一環として、高齢者の意見を聴くため、老人クラブ連合会の役員の方々へアンケート調査を実施した。また、その結果をもとに、老人クラブ連合会の会長、副会長の皆さんと情報交換を行った。

大府市老人クラブ連合会との情報交換会

(1月13日)

○老人クラブに入会して良かったことなど

- ・地域や人とのつながりができ、より充実した生活が送れると思う。
- ・自分のやりたい趣味のクラブを立ち上げて楽しむことができる。また、会を運営することが生きがいになった。
- ・地域活動をして、地域に貢献し、人のために動いていることで満足感や達成感を味わうことができる。

○趣味のない人や老人クラブに参加されていない人へのアプローチについて

- ・知り合い等に声を掛け、勧誘をしている。また、社会福祉協議会の広報紙や各地区で工夫して独自にチラシを作り、勧誘している。

○「生きがいづくり」における老人クラブの役割は何か

・老人クラブの活動そのものが「生きがいづくり」となっており、会員には生きがいを見いだしてもらいたい。

・「生きがい」とは人それぞれであり、自然体で良いと考える。現状を維持していくことが大切である。



▲老人クラブ連合会との情報交換会

大府市への反映・所感

情報交換会を経て、同日に意見交換会を行い、次のような意見が各委員から述べられた。

- ・立場は様々であっても、老人クラブの活動が「生きがいづくりそのもの」となっている。
- ・老人クラブの役割が「生きがいづくりそのもの」であるなら、行政としてどのようにに関わり、サポートしていくべきか。

・老人クラブが「老人福祉法」において、「老人福祉を増進するための事業」として位置付けられているのであれば、行政はその目的の達成のために支援していくことが必要である。

・行政として、老人クラブの位置付けを明確にしていく必要がある。

建設産業委員会

「共生社会における公園のあり方について」の調査研究のため、東京都が進める「インクルーシブ公園について」、視察を行った。

東京都オンライン視察

(1月18日)

整備の背景、目的

東京都では、これまでもバリアフリー法などに基づき、ユニバーサルデザインに配慮した公園整備を進めてきたが、遊具については、障がいのある子ども等にとって、使いやすいものではなかった。

また、東京2020オリンピックク・パラリンピックを控え、多様性が求められる中で、公園の遊具についても、誰もが使いやすく、皆で遊べるようなものが必要という背景があった。

そこで、障がいの有無や文化の違い等の相互理解と、支え合う社会の実現を目的として、^{きめた}砧公園内の「みんなのひろば」の整備に着手した。

整備の内容と現在の状況

「みんなのひろば」には、車椅子やベビーカーに乗ったままでも利用できる複合遊具、寝そべって揺れを体感できるブランコ、たたくと音の出る遊具等を整備しており、事故もなく順調に利用されている。



▲砧公園の「みんなのひろば」の遊具
(東京都世田谷区)

整備後の利用者の反応、課題等

利用者の反応はおおむね良好であるが、ニーズを把握するため、定期的にモニタリング調査を実施している。課題としては、子どもの障がいの有無により、特に保護者がお互い遠慮し合っていることが挙げられる。

公園や遊具等の今後の整備予定

保護者の理解を深めることや、行政職員の意識向上を図ることが必要となる。そのため、東京都としては、今後、公園整備や遊具改修の際に、ユニバーサルデザインに配慮したインクルーシブ遊具を取り入れる等の方法で「みんなのひろば」の周知・啓発に努めていきたいと考えている。

大府市への反映・所感

・インクルーシブ遊具によって、保護者に障がいがある場合でも子どもと一緒に遊ぶ経験ができるというのは非常に大事なことだと思う。

・整備したのに利用されていないという状況とならないよう、全ての地域住民に理解してもらえようという周知が必要である。

・インクルーシブ遊具の整備は、遊ぶだけでなく、共生社会の形成を進めるためとして捉えたい。

まずは、身近な地域にインクルーシブの観点に立った公園があることが必要であり、そこからその理念を広めることを考えていきたい。

・「インクルーシブ」という言葉が一過性にならないように報告書をまとめる必要がある。

委員会の活動報告の詳細は、市議会のウェブサイトに掲載しています。

令和3年度

大府市議会政務活動費収支報告

◎議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、
会派に対し交付された政務活動費の収支報告です。

※政務活動費に関する収支報告書や領収書等の証拠書類については
市役所5階議会事務局で御覧いただけます。

令和3年4月1日～令和4年3月31日

●政務活動費交付金 会派別内訳 交付額 180,000円(月額15,000円×12か月)×会派人数

会派名	交付額(収入)(円)	支出額(円)	残額(返還金)(円)
自民クラブ (7人)	1,260,000	119,304	1,140,696
市民クラブ (5人)	900,000	0	900,000
公明党 (2人)	360,000	5,476	354,524
無所属クラブ (2人)	360,000	158,702	201,298
日本共産党 (1人)	180,000	56,582	123,418
無会派クラブ (1人)	180,000	0	180,000
風民の会 (1人)	180,000	46,975	133,025
合 計 (19人)	3,420,000	387,039	3,032,961

※残額(返還金)は、市に返還しました。

●政務活動費の使途 会派別内訳

自民クラブ 会派人数(7人)	使途項目	支出額(円)	説 明
	調査研究費	0	
	研 修 費	0	
	資料購入費	72,650	定期刊行物
	事務用品費	46,654	事務用消耗品
合 計		119,304	

市民クラブ 会派人数(5人)	使途項目	支出額(円)	説 明
	調査研究費	0	
	研 修 費	0	
	資料購入費	0	
	事務用品費	0	
合 計		0	

公明党 会派人数(2人)	使途項目	支出額(円)	説 明
	調査研究費	0	
	研 修 費	0	
	資料購入費	0	
	事務用品費	5,476	事務用消耗品
合 計		5,476	

無所属クラブ 会派人数(2人)	使途項目	支出額(円)	説 明
	調査研究費	0	
	研 修 費	141,400	研修会1回
	資料購入費	12,540	定期刊行物
	事務用品費	4,762	事務用消耗品
合 計		158,702	

日本共産党 会派人数(1人)	使途項目	支出額(円)	説 明
	調査研究費	0	
	研 修 費	2,000	研修会1回
	資料購入費	47,300	図書
	事務用品費	7,282	事務用消耗品
合 計		56,582	

無会派クラブ 会派人数(1人)	使途項目	支出額(円)	説 明
	調査研究費	0	
	研 修 費	0	
	資料購入費	0	
	事務用品費	0	
合 計		0	

風民の会 会派人数(1人)	使途項目	支出額(円)	説 明
	調査研究費	0	
	研 修 費	38,319	研修会2回
	資料購入費	0	
	事務用品費	8,656	事務用消耗品
合 計		46,975	

■政務活動費を充てることができる経費の範囲

調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究に要する経費(先進地調査、現地調査等の実施に必要な交通費、宿泊費、施設入場料、振込手数料等)
研 修 費	会派が研修会を開催するために必要な経費又は団体等が開催する研修会の参加に要する経費(研修会の開催に必要な会場借上料、講師謝礼、研修会の参加に必要な交通費、宿泊費、出席負担金、振込手数料等)
資料購入費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費(図書、定期刊行物、送料、振込手数料等)
事務用品費	会派が行う活動に必要な事務用品に要する経費(事務用消耗品、コピー代等)



大府市議会からのお知らせ

臨時会(5月議会)及び第2回定例会(6月議会)は、次の日程で開催する予定です

5月 13日(金)臨時会(議会人事)

6月 2日(木)本会議 初日

9日(木)本会議 2日目(一般質問 1日目)

10日(金)本会議 3日目(一般質問 2日目)

6月14日(火)建設産業委員会

15日(水)厚生文教委員会

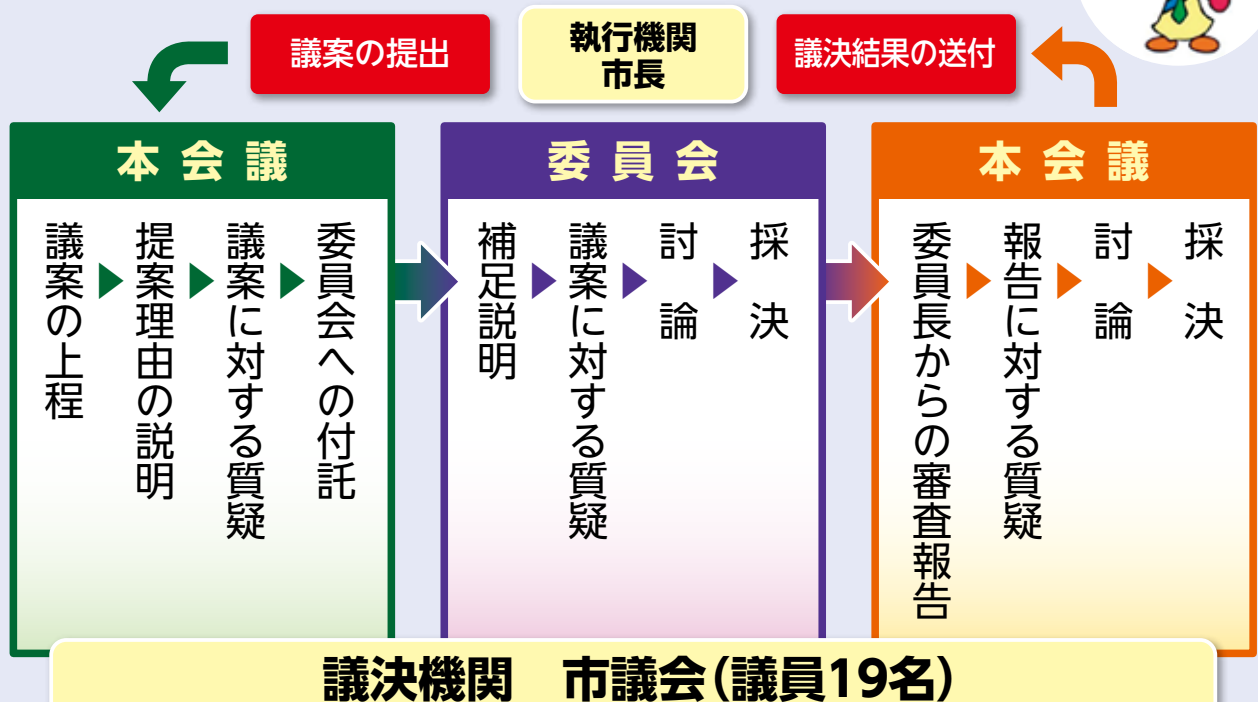
16日(木)総務委員会

21日(火)本会議 最終日

いずれも午前9時からです

～議案審査の流れ～

市民の皆さんのための
予算や条例等の議案は、市議会での審査
及び議決を経て決定されています!



「フリキンデー」
森が燃えていました。
動物たちが我先に逃げ出
しました。フリキン
デーという名のハチドリ
は、くちばしにためたひ
としくの水を運び、燃
えさかる森にかけ続けま
した。

「百匹目のサル」
一匹のサルが、海に落
ちたイモを拾い上げて食
べました。それからイ
モを海で洗って食べるよ
うになり、それを見てい
た仲間たちも真似をし
ました。やがて百匹目のサ
ルがイモを海で洗った時、
島から遠く離れた所に住
む全世界のサルが一斉に、
イモを洗って食べるよう
になりました。

私たちができることに
は限りがあります。それ
でも願いを表わすことは
尊く、いつか世界中の同
じ思いとつながる必然を
信じたいと思います。

大府市議会は、ただひ
たすら世界の平和を願い、
ロシアにウクライナへの
侵攻をやめ、自分の国に
戻るよう、3月議会にお
いて、決議文を全会一致
で可決しました。

(M・M)

【編集後記】